

平素より美作岡山道路の建設推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
本号では、5月の第6回住民説明会から12月現在までの飯岡地区の状況についてお知らせ  
します。



### 測量に伴う土地の立ち入りの意向確認の結果（5～8月）

道路計画や内水対策の検討に必要な範囲の土地を所有・管理されている方を対象に「測量に伴う土地への立ち入りの意向確認」についての調査票を郵送し、6月～8月末にかけて関係者の皆様からご意向の確認をさせていただいた結果、測量の立ち入りについては、8割を超える方から協力をいただけるとのご回答いただきました。

残る2割弱の方々に対しては、引き続き丁寧な説明をさせていただき、県の計画に対してご理解が得られるように取り組んでまいりたいと考えております。

お忙しい中、意向確認の調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

### 6月定例県議会での質問（6月）

美作岡山道路に関し、「早期完成に向け、住民の合意形成を図るべき。合意形成に至る環境を整えるべき。」との質問がありました。これに対して知事は「引き続き、丁寧な説明を行い美作岡山道路が地域の活性化にもつながるよう、美咲町と連携し取り組んでまいりたい。」と答弁し、また土木部長は「多くの方にご理解をいただくためにも、今まで参加していただけていない方々の参加など、環境が整えば説明会の開催を検討してまいりたい。」と答弁しました。

### 「高規格道路をみんなで考える会」との意見交換会（9月）

6月定例県議会での答弁を受け、「考える会」を中心とした県の道路計画に意見をお持ちの方々、約30名と9月23日に「飯岡老人憩いの家」で、意見交換会を行いました。

意見交換会では、

- ・ 柵原インターチェンジ（IC）周辺で交通量が増加し交通事故が増える要因となり危険だ。
- ・ 柵原ICは美咲町の東端にあり、美咲町の発展に必要な不可欠なものではないため不要。
- ・ 吉井ICや英田ICを利用するため柵原ICは不要。
- ・ 柵原ICを無くしてルート変更し、早期開通をめざせ。 などのご意見がありました。

県は、柵原ICが地域の活性化につながることや、具体的な交通事故対策の立案には道路計画の作成が必要であり、そのためにも測量を行う必要があるということを説明するなど、意見交換を行いました。

### 美咲町長及び美咲町議会議長の要望（11月）

平成29年11月15日に美咲町長・美咲町議会議長から知事に対して、「美作岡山道路の早期建設に向け、まずは、8割以上の賛同を得ている測量作業に着手していただきたい。」との要望書が提出されました。内容は右ページのとおりです。



【要望書提出の様子】手前から貝阿彌美咲町議会議長、定本美咲町長、青野岡山県議会議員

### 美咲町長及び美咲町議会議長から提出された要望書

#### 美作岡山道路建設促進に関する要望

平成29年11月15日

岡山県知事 伊原木 隆太 殿

美作岡山道路事業については、平成25年6月の地元説明会以降、飯岡地区内で混乱が続いておりましたが、各地区で県提示ルートを前提として議論を進めるとの合意が得られ、飯岡地区4自治会長連名による建設促進を求める陳情を受け、昨年12月、美咲町と美咲町議会は、建設促進に関する要望書や早期着手に向けた取り組み強化を求める意見書を県に提出したところです。

その後も、美作岡山道路を活用した飯岡地区の発展を念頭に、地域住民の方々の意見を聞くためのワークショップを開催し、地域振興策を地区の方々と一緒になって考え、意見を取りまとめ、「美咲町振興計画」に位置づける対応を検討しております。

先般、県による第6回地元説明会において、測量作業についての説明が行われ、その後、測量に伴う土地への立ち入りの意向確認調査が行われました。この調査の結果、測量範囲の地権者の8割以上の賛同が得られたところです。

従来より申し上げているとおり、美作岡山道路は柵原地域だけでなく、美咲町としても大変重要な道路であり、関係者の大半が早期建設を待ち望んでいる状況が確認されたところです。美咲町としましては、今後も、早期完成に向けて鋭意努力を致しますので、県におかれましても早期建設に向けて、まずは、8割以上の賛同を得ている測量作業に着手していただきますよう、よろしくお願いたします。

久米郡美咲町長 定本 一 友

久米郡美咲町議会議長 貝阿彌 幸 善

